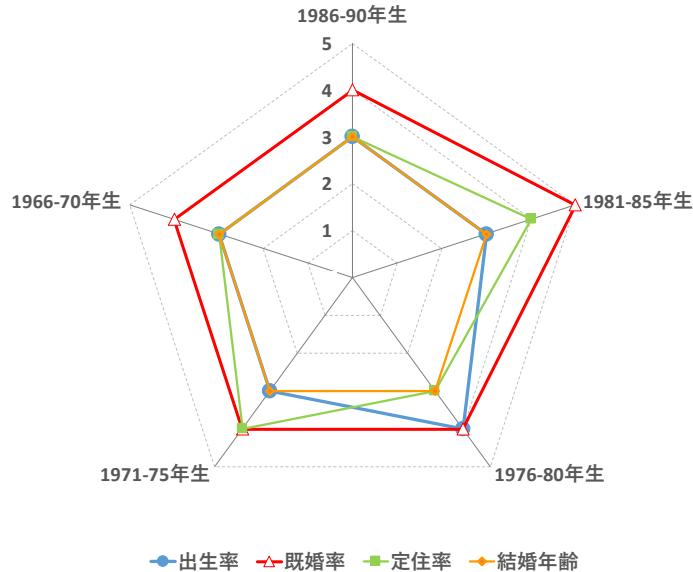


## (15) 上越市

### ①出生に関する総合評価

図15-1 コホート別総合評価



注：各コホート別の新潟県30市町村内の順位を5段階で評価している。

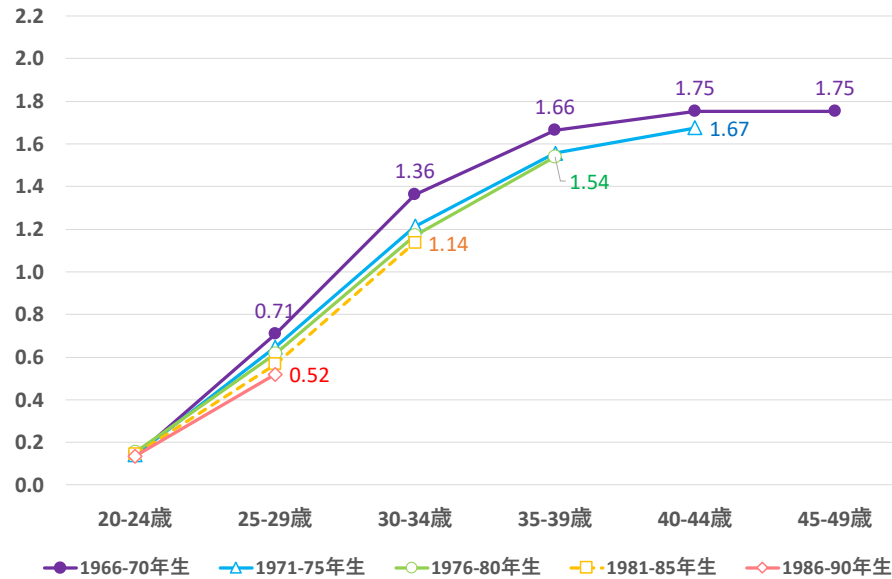
1. 合計出生率は、1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1981-85年生まれ、1986-90年生まれは中位であるが、1976-80年生まれは上位である。
2. 女性既婚率は、1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれ、1986-90年生まれは上位であるが、1981-85年生まれは最上位である。
3. 女性定住率は、1966-70年生まれ、1976-80年生まれ、1986-90年生まれは中位であるが、1971-75年生まれと1981-85年生まれは上位である。
4. 女性結婚年齢は、すべてのコホートで中位である。

### 【総合評価】

1. 上越市では、定住率と結婚年齢が中位か上位に属しているが、女性既婚率は全コホートで上位以上であり、1980年代前半コホートは最上位である。合計出生率は（既婚率が上位であるにもかかわらず）1970年代後半生まれが上位である以外は、中位に属している。
2. 女性既婚率が県内で上位であるものの、1980年代生まれコホートの女性既婚率は1970年代生まれよりも低下傾向にある。
3. 子どもが産まれる確率が最も高い25-34歳の出生数は、1980年代前半生まれまでほぼ1人を維持している。しかしながら、25-29歳の出生率が低下傾向にあることから、今後1人以上を回復できるかは30歳代でのキャッチアップがどの程度達成できるかに依存する。

## ②コホート合計出生率

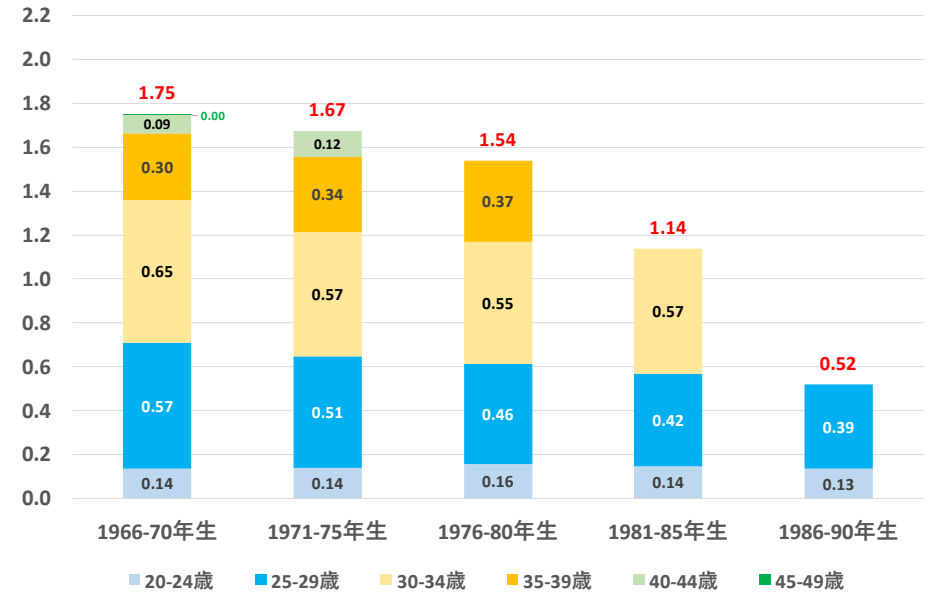
図 15-2 コホート合計出生率の推移



注：新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 15-2 は、上越市のコホート合計出生率の推移を示している。
- ・ 県内他市町村と同様に、25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に合計出生率の低下がみられる。しかし、1971-75 年生まれから 1981-85 年生まれの合計出生率の低下幅は小さい。
- ・ 1986-90 年生まれコホートでは 25-29 歳以降の合計出生率が合計さらに低下している。

図 15-3 コホート合計出生率の年齢区分別内訳

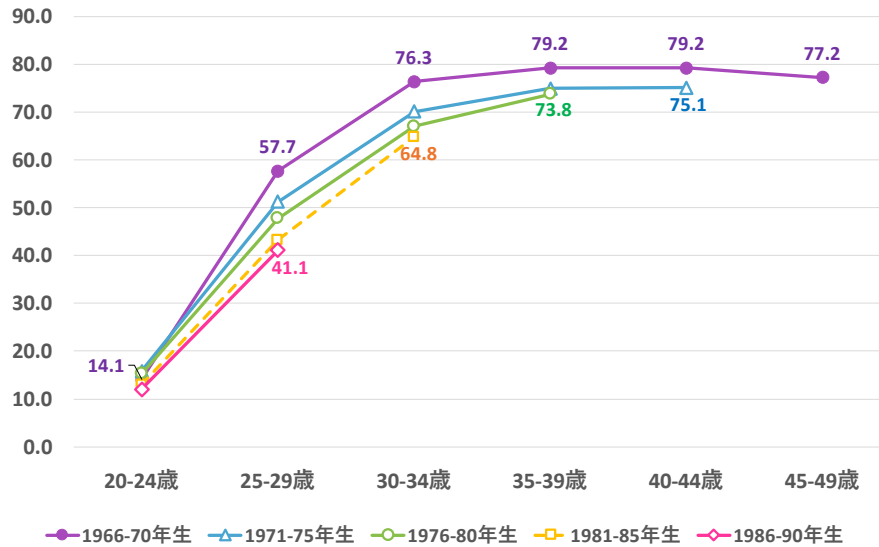


注：新潟県「福祉保健年報」より作成。四捨五入のため内訳の計と合計が一致しない場合がある。

- ・ 図 15-3 は、コホート合計出生率の年齢区分別内訳を示している。
- ・ 20 歳代の出生数は、1966-70 年生まれコホートの 0.71 人に対して、1986-90 年生まれは 0.52 人に減少している。30 歳代では 1966-70 年生まれの 0.95 人に対して、1976-80 年生まれは 0.92 人にわずかに低下している。
- ・ 晩婚化のため 20 歳代の出生率が低下しているが、30 歳代でも 1966-70 年生まれから 1 人が生まれておらず、低下傾向が続いている。
- ・ 子どもが産まれる確率が最も高い 25-34 歳の出生数は、1976-80 年生まれまでは 1 人を上回っていたが、1986-90 年生まれの 25-29 歳の出生数はこれまでよりも少ない 0.39 人に減少した。

### ③コホート別既婚率

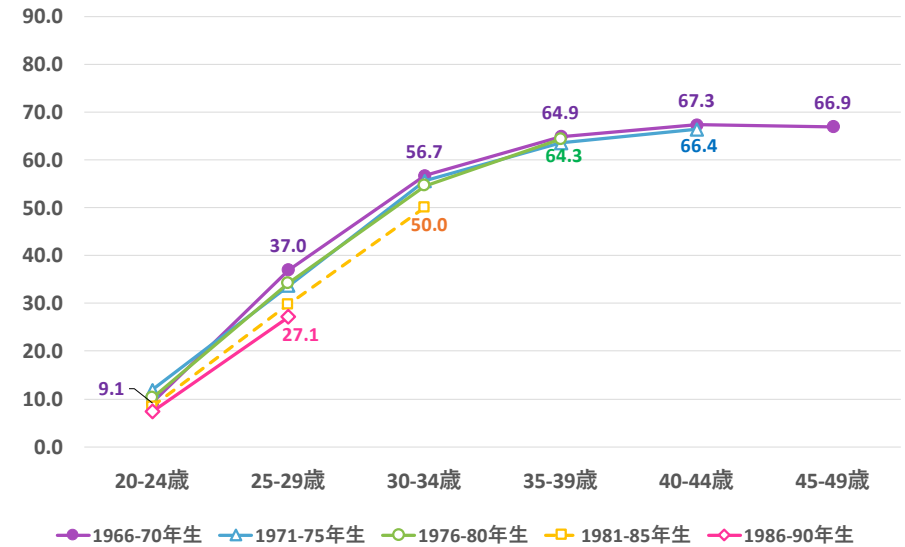
図 15-4 コホート別既婚率の推移(女性) 単位：%



注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 15-4 はコホート別の到達年齢までの女性既婚率の推移を示している。
- ・ 25-29 歳以降で、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれ以降の間に既婚率の大幅な低下がみられる。さらに、1971-75 年生まれとそれ以降のコホート間でも、25-29 歳と 30-34 歳時点の低下がみられる。
- ・ 25-29 歳の既婚率は、1966-70 年生まれの 57.7%から 1986-90 年生まれは 41.1%へと 16.6 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 79.2%から 1976-80 年生まれは 73.8%へと 5.4 ポイント低下している。

図 15-5 コホート別既婚率の推移(男性) 単位：%

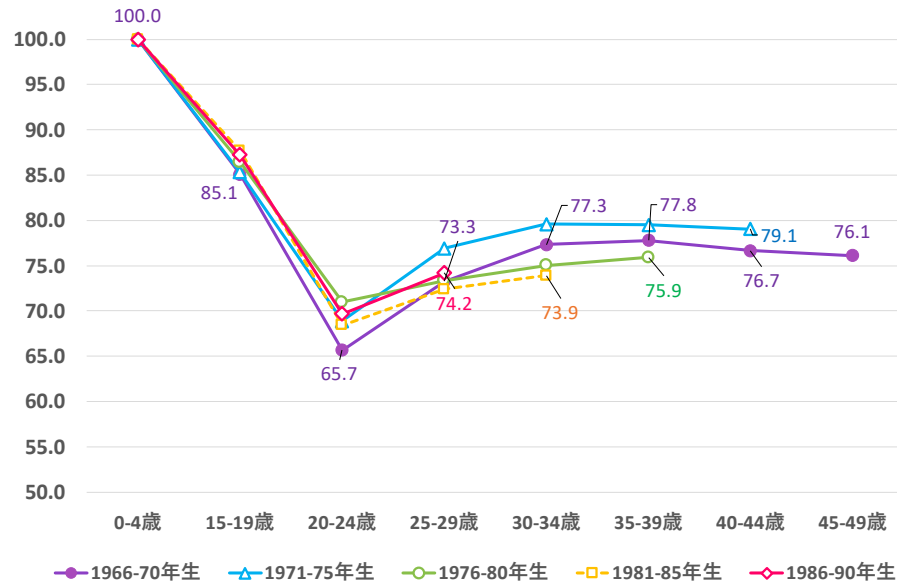


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 15-5 はコホート別の到達年齢までの男性既婚率の推移を示している。
- ・ 男性既婚率も女性同様に最近のコホートほど低下する傾向が確認できるものの、女性既婚率と比較して、コホート間の差が小さい。
- ・ 25-29 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 37.0%から 1986-90 年生まれは 27.1%へと 9.9 ポイント低下し、35-39 歳の既婚率は 1966-70 年生まれの 64.9%から 1976-80 年生まれは 64.3%に 0.6 ポイント低下している。
- ・ 女性既婚率は 40 歳代で 70%台後半に達するが、男性は 60%台後半に止まり、男性既婚率のほうが低い傾向がある。

#### ④コホート別定住(残存)率

図 15-6 コホート別女性定住率 単位：人口指数

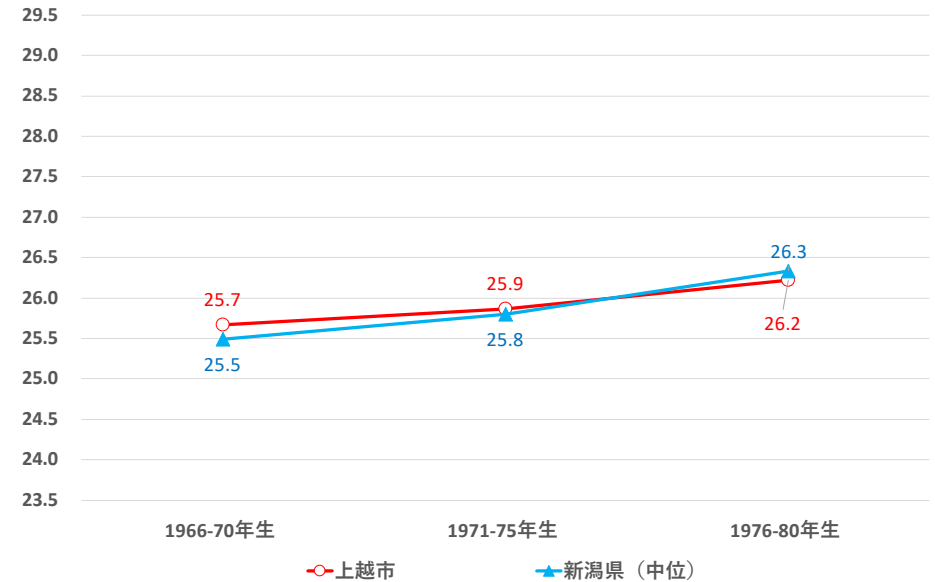


注：0-4歳人口=100。「国勢調査」より作成。

- ・ 図 15-6 はコホート別の到達年齢までの定住率の推移を示している。
- ・ 25-29歳における女性定住率は、1966-70年生まれの73.3から1986-90年生まれは74.2に0.9ポイント上昇しており、35-39歳における女性定住率は、1966-70年生まれの77.8から1976-80年生まれは75.9に1.9ポイント減少している。
- ・ 上越市では、25-39歳時でみると、年齢とともにゆるやかに上昇する傾向があるが、70%台半ばから後半で推移し、1980年代以降コホートの大きな低下は見られない。

#### ⑤コホート別女性平均結婚年齢

図 15-7 女性平均結婚年齢 単位：歳

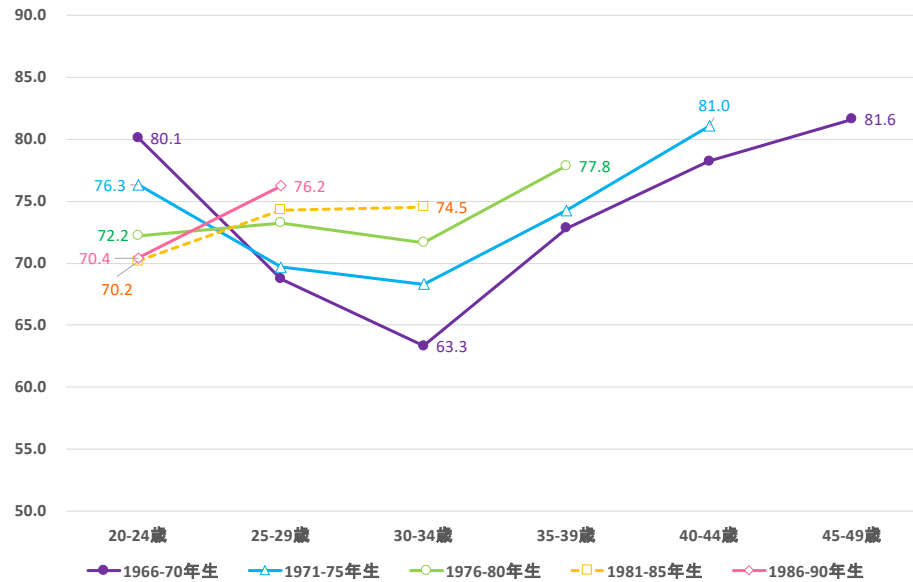


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 15-7 はコホート別の35-39歳までの女性平均結婚年齢を示している。
- ・ 1966-70年生まれ、1971-75年生まれ、1976-80年生まれの35-39歳までの女性平均結婚年齢は、それぞれ25.7歳、25.9歳、26.2歳である。1966-70年生まれと比べて、1976-80年生まれは0.5歳だけ平均結婚年齢が遅れている。
- ・ 1966-70年生まれの県内順位は19位、1971-75年生の県内順位は17位、1976-80年生は13位と平均結婚年齢が県内平均(中位)程度の自治体となっている。

⑥コホート別女性就業率

図 15-8 コホート別女性就業率 単位：%

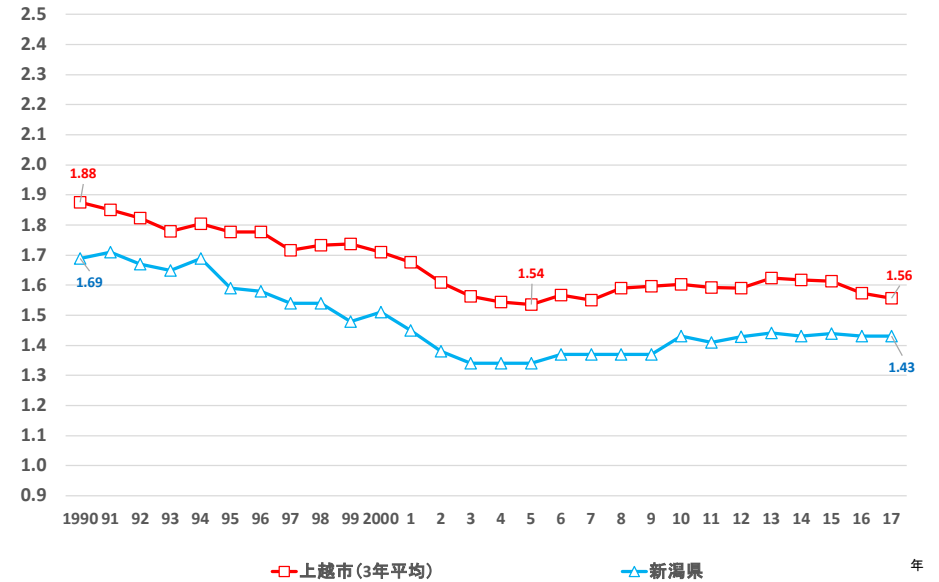


注：「国勢調査」より作成。

- ・ 図 15-8 はコホート別の女性就業率の推移を示している。
- ・ 20-24 歳から 25-29 歳までの女性就業率の変化を見ると、1966-70 年生まれと 1971-75 年生まれのコホートは低下しているのに対し、それ以外のコホートでは上昇している。
- ・ 30-34 歳の女性就業率を見ると 1966-70 年生まれは 63.3%であったのに対して、1981-85 年生まれは 74.5%に上昇している。
- ・ 1970 年代生まれまでは M 字カーブが確認されたが、1981-85 年生まれコホートでは 30-34 歳時点で M 字の底が確認されない。

⑦期間合計特殊出生率

図 15-9 期間合計特殊出生率の推移



注：市町村の出生率は 3 年間の移動平均値である。新潟県「福祉保健年報」より作成。

- ・ 図 15-9 は、1990 年から 2017 年までの新潟県平均と上越市（3年平均）の期間合計特殊出生率の推移を示している。
- ・ 1990 年以降でみると、上越市の期間合計特殊出生率は一貫して新潟県平均より高く、期間平均では 0.18 ポイント高い。
- ・ 上越市の期間合計特殊出生率は、1990 年の 1.88 から低下してきたが、2005 年の 1.54 を底に、2013-14 年には 1.64 まで改善したが、2017 年には 1.56 に低下している。